

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年3月25日

事業所名 栃木県立リハビリテーションセンター子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	20	3	法令に準じた広さを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	19	3	法令に準じた人員を確保しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	23	0	転倒のリスクの高い物は室内に置かないなど、環境に配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	23	0	業者委託による清掃の他、職員自ら日常の掃除、使用後の玩具等の消毒、外の遊具掃除を行うなど、衛生管理を徹底しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	21	1	利用児の評価会議を全職員で行い、状況と情報の共有をしています。	今後も全職員による会議の開催等を通じて、情報共有を図るとともに、職員の意見を積極的に求めることとします。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	22	1	保護者懇談会を開催し、保護者の意見や要望を把握し、業務改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	20	3	年1回、評価を行い、その結果をホームページで公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	16	4	外部評価は行っていないませんが、地域療育支援事業を通して、外部からの評価をいただき、課題等を把握しています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	23	0	各種研修後は職員内でも研修報告をし、現場に活かすようにしています。	今後も研修の機会を積極的に確保し、職員の資質向上に努めます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	23	0	保護者との面談を行い、適切なアセスメントを行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	20	1	標準化された書式を使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	21	1	個別支援計画書の作成に当たっては、全職員で具体的な支援内容が設定されているか確認しています。	今後も、ガイドラインの視点を取り入れながら、具体的な支援内容を設定するよう努めます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	22	0	毎日の記録作成時等に各職員が計画を確認しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	21	2	児童発達支援管理責任者を中心に、職員で意見を出し合い、立案しています。	職員間で情報を共有しながら活動プログラムの立案を行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	22	0	児童発達支援管理責任者を中心に、職員間で意見を出し合い、決定しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	23	0	個別支援計画書に基づき、集団指導と個別指導を組み合わせた療育を行っています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	20	2	朝のミーティングに十分な時間を確保し、一人一人が支援内容や役割を把握できるようにしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	22	1	支援終了後、毎日支援の振り返りを行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	23	0	利用者ごとに、毎日保育記録を作成し、情報共有や支援の検証につなげています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	19	3	利用児の評価会議を全職員で行い、児童発達支援計画の検証を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	23	0	子どもの状況に精通している職員が複数で参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	22	1	常に、関係機関と連絡を取りながら支援を行っています。	今後も、関係機関と連携しながら支援を行います。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	21	0	常に、関係機関と連絡を取りながら支援を行っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	20	1	常に、関係機関と連絡を取りながら支援を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	23	0	必要に応じ、進路先の施設に訪問するなど、情報交換を図っています。	今後も施設訪問等を実施するなど、積極的に移行支援を行います。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	17	6	必要に応じ、進路先の施設に訪問するなど、情報交換を図っています。	今後も施設訪問等を実施するなど、積極的に移行支援を行います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	21	1	地域療育支援事業として研修会を開催したり、実地研修を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	19	退園児が通園する保育所等と積極的に交流するよう努めています。	障害のない子どもとの活動については、今後研究していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	8	15	地域の子育て会議等の参加の機会があれば、積極的に参加しています。	今後も、地域の子育て会議等の参加の機会があれば、積極的に参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	23	0	親子通園なので、日頃から保護者と話し合うことができます。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	19	3	保護者を対象に学習会を行っています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	23	0	利用契約締結時に、重要事項説明書に基づき説明をしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	23	0	支援内容については、「個別支援計画書」を示しながら説明を行い、保護者から同意をいただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	23	0	保護者からの質問や相談については、迅速に対応するよう努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20	3	園外保育や保護者学習会等の実施を通じて、保護者同士の交流を図っています。	今後も保護者学習会や意見交換会を通して、保護者間の連携を支援していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	23	0	相談や要望があった場合は、迅速な対応をこころがけています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	19	4	リハビリテーションセンター全体の広報紙である「とちりハ通信」に、通園行事の様子を掲載し、広く周知を図っています。	ホームページを積極的に活用し、活動概要等を広く発信していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	23	0	研修に積極的に参加するようにしています。	今後も、個人情報の取り扱いには十分注意します。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	23	0	それぞれの課題に寄り添った配慮を心がけています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	18	5	リハビリテーションセンターの「とちりハマ祭り」の開催について、チラシ等でお知らせしています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	20	2	定期的に避難訓練を行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	23	0	定期的に避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	23	0	入園時の面談等で、看護師が服薬等について確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	23	0	入園時に指示書を提出していただき、職員間で情報を共有しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	21	2	センター内のリスクマネジメント委員会に参加し、事例や解決策を共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	21	2	研修に積極的に参加するようにしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	19	4	親子通園であり、身体拘束は行いません。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。